

フランスの地で故郷を想ったショパン。

フランスで生まれ育ったフォーレ、ドビュッシー、ラヴェル。

フランスに縁ある珠玉の作品を、再従姉妹の共演でお楽しみください。



松口理子 ピアノ RIKO MATSUGUCHI

福岡県福岡市出身。桐朋学園大学音楽学部を卒業後、東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程を修了。2022、2023年度一般財団法人福岡育英会奨学生。第5回K クラシック音楽コンクール第1位、第35回市川新人演奏家コンクール優秀賞。大学在学中、成績優秀者によるStudents' Concert、浜離宮朝日ホール及び紀尾井ホールにて行われた卒業演奏会等に出演。2023年ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学夏季アカデミーにて選抜され、Winners' Concertに出演。現在は東京と福岡を中心とした演奏活動のほか、アウトリーチや後進の指導、イベント出演なども積極的に行っている。これまでにピアノを伊藤恵、竹内啓子、吉田あかねの各氏に、室内楽を加藤洋之、萩原麻未の各氏に事。フォルテピアノを平井千絵氏に師事。福岡市民ホールピアノサポーター。

山本朝子 ピアノ ASAKO YAMAMOTO

福岡女学院高等学校音楽科を経て国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。高校・大学共に、学内選抜者によるサマーコンサート、定期演奏会にソロで出演。第145回日演連推薦新人演奏会にてラヴェルのピアノ協奏曲を九州交響楽団と共演する。福岡ピアニストグループ演奏会、ショパン協会九州支部例会等多数出演の後、リサイタルを4回開催。フランス近代音楽、特にドビュッシー、ラヴェルの演奏には定評がある。これまでに田村淑子、奥田京子、北川正の各氏に師事。A.V.アルニム、S.ドレンスキー、岩崎嶺、A.ビサレフ、パスカル・ロジェ、花岡千春、伊藤隆之の各氏に指導を受け研鑽を積む。現在、あさこピアノ・ソルフェージュ教室及び光文堂楽器音楽教室にて20年以上後進の指導にあたる他、福岡を中心にソロ・室内楽・伴奏の演奏活動を行い、コンクールの審査員を務める。近年ではロビーコンサート、施設内コンサート等にも取り組み、子ども発達障がい支援アドバイザーの資格を取得。福岡市民ホールのオープン見学会で演奏する等、福岡市民ホールピアノサポーターを務めている。

